

平成20年 国家Ⅲ種

〔No. 1〕 次のA～Eの記述のうち、わが国において実施するに当たって憲法改正が必要とされるもののみを挙げているものはどれか。

- A：衆議院議員を選出する選挙権を18歳以上の国民に与えること。
- B：国会を一院制にすること。
- C：国民が内閣総理大臣を直接選挙により指名すること。
- D：国会議員でない文民を国務大臣として内閣総理大臣が任命すること。
- E：環境税を新設すること。

- 1. A、D
- 2. A、E
- 3. B、C
- 4. B、E
- 5. C、D

〔No. 2〕 わが国の選挙制度に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- 1. 選挙制度は、小選挙区制と大選挙区制に大別できる。大選挙区制は、多数党に有利であり、死票が増えることから、わが国は小選挙区制を採用している。
- 2. わが国の選挙制度は公職選挙法によって定められており、衆議院の場合、小選挙区から180議席と比例区から300議席を選出する小選挙区比例代表並立制を採っている。
- 3. 選挙制度の問題の一つとして、選挙区の人口と選出されるべき議員定数との不均衡を示す「一票の格差」がある。憲法ではその格差を2倍未満とすることと規定している。
- 4. 参議院の比例代表選出に当たっては、選挙人は名簿登載の候補者、政党のいずれかに投票でき、候補者の得票順に政党内の当選者が決定する非拘束名簿式を採っている。
- 5. 中央選挙管理委員会は、国、地方のすべての選挙事務の管理・監督を行う行政委員会として市町村ごとに設置されており、このほかに住民投票などの事務も管理する。

〔No. 3〕 次の文のA～Dに入るものの組合せとして、最も妥当なものはどれか。

金融は、経済活動に必要な資金の貸し借りが行われることをいうが、外部資金の調達には二つの方式がある。企業が株式や社債を発行し、証券会社などを通じて資金供給者である個人や企業がこれを引き受ける〔A〕と、銀行などの金融機関が預け入れられた預金が、企業に貸し出される〔B〕である。

また、銀行は、現金を預金として受け入れると、その一部を〔C〕として保有し、残りを貸し出す。貸し出された企業は、それを他企業への支払いにあて、他企業は受け取った現金を自分の取引銀行に預金する。その取引銀行は、同様に受け入れた預金の一部を〔C〕として保有し、残りを貸し出しに回す。これが繰り返されると、全体で最初の預金額の何倍もの預金が創出されることになる。これを〔D〕という。

- | | A | B | C | D |
|----|------|------|--------|---------|
| 1. | 間接金融 | 直接金融 | 当座預金 | 信用創造 |
| 2. | 間接金融 | 直接金融 | 支払い準備金 | 公開市場操作 |
| 3. | 間接金融 | 直接金融 | 支払い準備金 | 預金準備率操作 |
| 4. | 直接金融 | 間接金融 | 当座預金 | 公開市場操作 |
| 5. | 直接金融 | 間接金融 | 支払い準備金 | 信用創造 |

〔No. 4〕わが国の財政の仕組みと租税に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

1. 国は、課税や公債の発行によって財政資金を確保する。地方公共団体は、資金の調達を課税および国からの補助金により行えるが、公債を発行することはできない。
2. 国の予算は、最も基本的な予算である一般会計と、一般会計どおりの執行が困難になったときに、国会の議決を経て一般会計の内容を変更するように組まれる予算である特別会計に分けられる。
3. 財政投融资は、政府が資金を市場から調達するために毎年立てる予算であるが、2000年の法律改正により廃止され、郵便貯金などの積立金を原資として供給する政府関係機関予算に変更された。
4. 消費税が生活必需品に課税される場合には、消費税が生活必需品ではないものに課税される場合と比べて、より大きな所得の再分配機能を有するので、所得の不平等を是正できる。
5. 租税のうち、法人税、所得税は国税として徴収され、また固定資産税、不動産取得税は地方税として徴収される。

〔No. 5〕人間が無意識に心理的な安定を保とうとする心の仕組みを「防衛機制」というが、次の防衛機制の具体例A～Dとその名称の組合せとして、最も妥当なものはどれか。

- A 自分がある人物になったつもりになり、その人物が危機に立てば自分もドキドキする。
- B 自分の欲求を学問や芸術などの社会的・文化的に価値あるものにふり向ける。
- C 自分の好きな人に冷たく接したり、臆病なのに強気な態度をとったりする。
- D 自分にとって充足不可能であったり好ましくない欲求を、あたかも最初からもちあわせていないようにする。

	A	B	C	D
1.	同一化	抑 圧	昇 華	反動形成
2.	同一化	昇 華	反動形成	抑 圧
3.	同一化	反動形成	昇 華	抑 圧
4.	反動形成	抑 圧	同一化	昇 華
5.	反動形成	昇 華	抑 圧	同一化

〔No. 6〕わが国の仏教に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

1. 法然は、仏はもともと罪深い衆生を救おうとするのであるから、煩惱の深い人間、すなわち悪人こそが仏の救おうとする相手であると説いた。
2. 親鸞は、信仰における学問や儀式の重要性を主張して、座禅や加持祈祷によって悟りを開くことができると説いた。
3. 道元は、どんな貧しい人でもどんな愚かな人でも、南無阿弥陀仏と口に唱えさえすれば浄土に往生できると説いた。
4. 栄西は、日本の神々は仏が形を変えて現れたもの(権現)であるとする「反本地垂迹説」を主張し、踊念仏を通じて教えを広めた。
5. 日蓮は、法華経を信仰することがただ一つの救いの道であると主張し、誰でも口に南無妙法蓮華経と唱えれば成仏できると説いた。

〔No. 7〕江戸幕府第5代将軍徳川綱吉の政策に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

1. 大名の妻子は人質として江戸に住まわせ、大名は一年おきに江戸を出て将軍に仕えさせる参勤交代を制度化した。
2. 信任の厚い家臣を五奉行に任じて政務一般にあたらせた。また、有力大名から五大老を選んで重要政務を合議で決定させた。
3. 林信篤を大学頭に任じ、朱子学を幕府の学問(正学)とした。また、寺社を造営するなど儒学や仏教を背景とした政治を推進した。
4. 大名や貿易商人に朱印状を与え、ルソン、安南(ヴェトナム)、カンボジア、シャム(タイ)など東南アジア各地との貿易を奨励した。
5. 農村の復興と江戸の治安維持をねらって、江戸に流入した農民を強制的に帰村させる人返し令を実施した。

〔No. 8〕次の文は19世紀に中国で起こったアヘン戦争に関する記述であるが、A、B、Cに入るものの組合せとして、最も妥当なものはどれか。

清朝は、アヘン貿易を取り締まるために〔 A 〕を広州に派遣して、外国商人からアヘンを没収した。中国に自由貿易を強制する機会を狙っていた〔 B 〕はこれを口実に関戦し、戦いに勝利して、清朝と賠償金の支払いのほかに香港の割譲などを認めさせる〔 C 〕を結んだ。

- | | A | B | C |
|----|-----|------|------|
| 1. | 洪秀全 | イギリス | 北京条約 |
| 2. | 洪秀全 | フランス | 南京条約 |
| 3. | 洪秀全 | フランス | 北京条約 |
| 4. | 林則徐 | イギリス | 南京条約 |
| 5. | 林則徐 | フランス | 北京条約 |

〔No. 9〕アメリカ合衆国の歴史に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

1. イギリスからの独立戦争に勝利したアメリカ合衆国は、フィラデルフィアで開かれた憲法制定会議において合衆国憲法を採択した。その後、ワシントンが初代大統領に就任した。
2. ラテンアメリカ諸国の独立運動に対してヨーロッパ列強は干渉を試みたが、ウィルソン大統領は1823年にヨーロッパとアメリカ合衆国の相互不干渉を唱える宣言を発表してこれを牽制した。
3. カリブ海域への進出をはかるアメリカ合衆国は、キューバがオランダからの独立運動を起こすと、独立運動の支援を名目にオランダに戦争をしかけたが敗北し、同海域への進出を断念した。
4. 第一次世界大戦の世界恐慌に直面したフランクリン・ローズヴェルト大統領は、新経済政策(ネップ)を採用するとともに、ラテンアメリカ諸国への干渉を強めた。
5. ヴェトナム戦争集結後に大統領に就任したジョンソンは、「偉大な社会」をスローガンに減税と軍備強化をすすめ、戦争で失われたアメリカ合衆国の威信の回復をはかった。

〔No. 10〕次は世界の人口問題に関する記述であるが、A～Dに入るものの組合せとして最も妥当なものはどれか。

長い間、ほとんど変化のなかった世界の人口は、産業革命以降の経済の発展や医学の進歩により、急激に増加しはじめた。1970年代に約40億であった世界の人口は、2000年には約〔A〕となり、今後さらに増加していくことが予想されている。このように、人口が加速度的に増え続ける様子を人口爆発という。

人口増加率は、特に先進国と発展途上国とでは大きく異なっている。先進国であるヨーロッパやアンゴロアメリカなどでは、すでに18～19世紀の人口急増期を経て少産少死型を示し、静止人口に近い国もある。一方、世界の人口の60%を占めるアジアやラテンアメリカなどの発展途上国では〔B〕を示す国が多く、今後の世界の人口増加の大部分を占めることになる。

〔C〕は、ある一定期間の出生数と死亡数の差を表すものである。これに対し、地域間の人口の移動によって生じる人口増加を〔D〕という。これは、ある地域への流入人口と流出人口の差によって求められ、アメリカへの移民のような国際間移動によるものと、農村から都市への人口流入のような国内移動によるものがある。

A	B	C	D
1. 61億	多産少死型	自然増加	社会増加
2. 61億	多産少死型	社会増加	自然増加
3. 61億	少産少死型	社会増加	自然増加
4. 51億	多産少死型	自然増加	社会増加
5. 51億	少産少死型	社会増加	自然増加

〔No. 11〕世界に分布する土壌に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

1. チェルノーゼムは、地中海沿岸に分布する灰白色の成帯土壌であり、有機物の分解が進まない低温の気候帯に存し、酸性度が高い。
2. レグールは、デカン高原に分布する玄武岩の風化で生成した黒色の間帯土壌であり、綿花等の栽培に適し肥沃である。
3. テラロッサは、タイガ地域に分布する赤色の成帯土壌であり、乾季の水分蒸発に伴い、鉄分やアルミニウム分が表層に集積して形成される。
4. ラトソルは、ウクライナおよびその付近に分布する石灰岩の風化で生成した間帯土壌であり、表層に薄い腐食層を有し、下層は赤色または赤褐色である。
5. ボドゾルは、熱帯・亜熱帯地域に分布する黒色の成帯土壌であり、乾季に草が枯れて多量の有機物が土壌にしみ込むため小麦等の栽培に適している。

〔No. 12〕 19世紀から20世紀にかけて活躍した画家に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

1. クリムトは、ノルウェーの画家であり、人間の内面的な情感、生・死・愛・恐怖・孤独などの題材を好んで描き、銅板・石版・木版画にも特異な才能をみせた。表現派先駆者の一人であり、代表作に『叫び』などがある。
2. モネは、オランダの画家であり、晩年はフランスで活躍した。印象派と日本の浮世絵の影響を受け、強烈な色彩と大胆な筆致によって独自の画風を確立した。表現主義・フォーヴィスムなどの先駆ともされる。代表作に『ひまわり』などがある。
3. ムンクは、オーストリアの画家であり、象徴的な装飾画や華麗な人物画などを制作し、世紀末の雰囲気表現した。代表作に『接吻』などがある。
4. ゴッホは、フランスの画家であり、色彩分割の技法を用いて自然に及ぼす光の効果を追及し、明色を用いた風景画を描き印象派の代表的画家となった。その作品『印象・日の出』から印象派の呼称が生まれた。代表作に『睡蓮』などがある。
5. モディリアーニは、イタリアの画家であり、エコール・ド・パリの一人である。特に細長い首や卵形の顔など女性像の描写に特徴がある。代表作に『ジャンヌ・エビュテルヌの肖像』などがある。

〔No. 13〕 次のA～Eの四字熟語のうち、説明が妥当なもののみを挙げているものはどれか。

- | | | |
|---|------|------------------------------|
| A | 堅忍不拔 | 無理に耐え忍ぶと、かえってうまくいなくなることのたとえ。 |
| B | 玉石混淆 | よいものと悪いものが入りまじっていることのたとえ。 |
| C | 臥薪嘗胆 | 目的を達成するために厳しい苦勞や努力をすることのたとえ。 |
| D | 晴耕雨読 | 俗事にわずらわされず、悠々自適に暮らすことのたとえ。 |
| E | 閑話休題 | むだばなしをしながら、休むことのたとえ。 |

1. A、B、C
2. A、C、E
3. A、D、E
4. B、C、D
5. B、D、E

〔No. 14〕 下線を付した部分の言葉の使い方が、最も妥当なものはどれか。

1. 愛用の万年筆とは馬が合うので、思いどおりに字が書ける。
2. 枯れ木も山のにぎわいですので、先生もぜひご出席ください。
3. 安い電化製品を探して、足が地に着かないほど歩き回った。
4. おかしくて、ほっぺたが落ちるほど笑い転げた。
5. 彼の歌唱力は折り紙つきなので、多くのファンがいる。

〔No. 15〕 12^{10} の桁数は次のどれか。

なお、 $\log_{10} 2 = 0.3010$ 、 $\log_{10} 3 = 0.4771$ である。

1. 9 桁
2. 11 桁
3. 13 桁
4. 15 桁
5. 17 桁

〔No. 16〕 次の式のうち、その解 x が無理数であるものはどれか。

1. $3x + 1 = \sqrt{2} + 3$
2. $3x = 5 - x$
3. $\sqrt{2}x = \sqrt{8}$
4. $x^2 - x - 2 = 0$
5. $x + 2\sqrt{3} = 2(x + \sqrt{3})$

〔No. 17〕 電気と通信に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

1. 音楽を録音している音楽 CD は、アナログ情報としての音声をデジタル信号に変換して記録している。これを再生するには、デジタル信号をアナログ信号に変換する必要がある。
2. 携帯電話や無線 LAN など で利用されている電波は、電場と磁場の振動が波となって空間を伝わるが、その速さは音の速さとほぼ同じである。
3. 物体は、金属などのように電流を流しやすい導体、シリコンやゲルマニウムのように電流をほとんど流さない絶縁体、さらに、ガラスやゴムのように導体と絶縁体の中間の大きさの抵抗をもつ半導体に分類することができる。
4. 電柱に設けられている変圧器は、送電線を通る交流の周波数を、コイルの巻き数比によって自由に上げ下げすることができる。
5. 電流の大きさは、導体の断面を単位時間に通過する電荷の量で表されており、電流の向きは、負の電荷をもつ電子が移動する向きとしている。

〔No. 18〕自然の長さが20 cmの同じばねア、イ、ウとおもりA、Bを用意し、図のように天井からつり下げた。このとき、ばねア、イの長さは25 cmに、ばねウの長さは24 cmになった。おもりBの質量が200 gであったとすると、おもりAの質量はいくらか。

ただし、ばねの質量は無視できるものとし、ばねの伸びはおもりの質量に比例するものとする。

1. 250 g
2. 300 g
3. 350 g
4. 400 g
5. 500 g

〔No. 19〕メタン(CH_4)に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

1. 炭素原子を中心に、4個の水素原子がイオン結合で結びついた分子である。
2. 炭酸カルシウムに塩酸を反応させると得られる気体である。
3. 水に解けやすく、常温で空気より重い気体であるため、下方置換で集めることができる。
4. 完全燃焼させると、水素と二酸化炭素を発生する吸熱反応が起こる。
5. 常温では、無色、無臭の気体で、天然ガスに多く含まれ、都市ガスとして利用されている。

〔No. 20〕 マグネシウム(Mg)やアルミニウム(Al)は、塩酸と反応させると水素が発生する。これらの金属をそれぞれ 1 g と十分な量の塩酸を完全に反応させるとき、発生する水素の標準状態における体積の比として、最も妥当なものはどれか。

ただし、Mg、Alの原子量をそれぞれ24、27、塩酸と反応してできる水素以外の生成物は、 $MgCl_2$ 、 $AlCl_3$ のみとする。

- Mg : Al
 1. 9 : 8
 2. 1 : 1
 3. 8 : 9
 4. 3 : 4
 5. 2 : 3

〔No. 21〕 次のA、B、Cの記述と植物ホルモンの名称の組合せとして、最も妥当なものはどれか。

- A 種子は、発芽するまで休眠の状態にある。この植物ホルモンは種子の発芽を抑制し、休眠を維持する。
 B イネ科植物では、胚乳に蓄積されたデンプンがアミラーゼという酵素によって糖に分解され、胚の成長に利用される。この酵素の合成はこの植物ホルモンによって引き起こされる。
 C 青いバナナを成熟したリンゴと同じ箱に入れておくとバナナの成熟が早まる。これは、リンゴの果実が放出するこの植物ホルモンが、果実の成熟を促進させる働きをもつからである。

- | | A | B | C |
|----|--------|-------|-------|
| 1. | アブシシン酸 | ジベレリン | エチレン |
| 2. | アブシシン酸 | フィブリン | グルカゴン |
| 3. | アブシシン酸 | フィブリン | エチレン |
| 4. | アミノ酸 | ジベレリン | グルカゴン |
| 5. | アミノ酸 | フィブリン | エチレン |

〔No. 22〕 次のA～Dのうち、太陽と地球の動きに関する記述として、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

- A 地球上に季節変化をもたらす主因は、地球から太陽までの距離の変動である。
 B 赤道上で、太陽が天頂に最も近づくのは、春分の日と秋分の日である。
 C 北緯50度の地点では、どの季節においても1日に1度、太陽が昇る。
 D 南半球においても、季節によっては約半分の地域で、天の北極を見ることができる。
1. A、C
 2. A、D
 3. B、C
 4. B、D
 5. C、D

〔No. 23〕 次の文の内容と合致するものとして、最も妥当なものはどれか。

Everywhere he went, Leonardo took a little notebook with him. He made drawings of anything that interested him. A plant. Ducks in a stream. Flowers. An insect. Some cows. Paper was very valuable, but Leonardo was lucky. Because of his father's business, there was always a supply. It was one of the most important things Ser Piero ever gave his son.

Even when he was a young boy, Leonardo had an amazing talent for drawing. Drawings seemed to flow out of his fingers onto the paper. His rabbits and birds didn't look like drawings. They looked *alive*.

He understood the beauty of nature. He also knew its dangers. When he was only four years old, a terrible hurricane struck the countryside. Farms were destroyed, and many people were killed. Then when he was ten, the Arno River flooded Florence. Leonardo watched the storm and saw the flood; he never forgot either. All his life, he drew pictures of moving water.

Water was a source of life for animals and plants. It was also a source of destruction. Leonardo wanted to understand both sides of this force and to control its power.

His father must have been aware of his son's gift for drawing. All it would have taken was one look at one sketch.

- 1 . 紙が貴重品であったので、レオナルドは大事なノートをいつも肌身離さず持っていた。
- 2 . レオナルドを画家にしたいと望んだ彼の父親は、彼にいつもノートを買い与えていた。
- 3 . レオナルドは少年の頃に嵐に襲われた体験をきっかけに自然の動植物を描くようになった。
- 4 . 嵐や洪水を体験し、レオナルドは自然に美しさと怖さの両面があることを理解していた。
- 5 . レオナルドは水の力に驚嘆し、生涯にわたり、エネルギーとして利用することを研究した。

〔No. 24〕 次の文の内容と合致するものとして、最も妥当なものはどれか。

Diamonds were made millions and millions of years ago when fuming volcanoes melted the element called "carbon" inside some rocks. Gigantic masses of earth pressed the carbon tightly. The hot melted carbon was squeezed so tightly that by the time it cooled, it had changed into the hard gemstones called "diamonds."

Some diamonds are found in the gravel and sand near rivers. Others are left in the mountains by glaciers. Most diamonds are mined from rocks deep underground, usually in Africa. The country of South Africa is the major source for the diamonds used in jewelry.

Diamonds usually look like pieces of glass or dull stones when they're first taken out of the ground. They must be cut and shaped to be used in jewelry. And diamonds are so hard that nothing can cut them except another diamond.

Using diamond-edged tools, the diamond cutter carefully shapes and polishes the diamond so that it has straight edges and smooth surfaces. These edges and surfaces help the diamond reflect light so that it sparkles and flashes with tiny bursts of color.

Diamonds often seem to flash like white fire. But there are diamonds that have other colors. Red, blue, and green diamonds are difficult to find. Yellow, orange, and violet diamonds are more common. Sometimes people even find black diamonds.

- 1 . 掘り出されたばかりのダイヤモンドは、光を反射してキラキラ光るため宝石だとすぐ分かる。
- 2 . 多くのダイヤモンドは、アフリカの川近くの砂利の中から掘り出される。
- 3 . ダイヤモンドを研磨するためには、ダイヤモンドの刃のついた工具が用いられる。
- 4 . 赤や青のダイヤモンドもあるが、それらは微量の不純物を含んでおり、透明のダイヤモンドより質が劣る。
- 5 . 近年、黒色ダイヤモンドを人口的に合成することに成功した。

〔No. 25〕 次の文の内容と合致するものとして、最も妥当なものはどれか。

Molly Morden sat in an old chair beside the table. Molly was winding the wool from an old pullover into a ball. She had made quite a large ball of wool. On the table were Molly's knitting and a pair of scissors.

Molly's face was young and pretty and she had long golden hair. Her hands worked quickly at the wool. As Molly worked, she looked now and then at the door.

Suddenly Molly stopped working. Her hands were still. She looked towards the door and listened. Molly could hear the soldiers as they went past the house. And she could hear the sound of the soldiers' voice. The sound slowly went away. Molly pulled at the wool. Again she stopped. There was a sound at the door and then three short knocks. Molly put down her work and went to the door.

'Yes?' she called. Then she unlocked the door and Annie came in. Annie was wrapped in a blanket. Her eyes and her nose were red. Annie came in quickly and looked around the room.

'Good evening,' Molly said. 'I didn't expect you tonight. It's cold out. Take your coat off and warm yourself near the stove.'

1. Molly は、ストーブのある家の中で、椅子に座って作業をしていた。
2. Molly は、毛糸のセーターを編みながら夫の帰りを待っていた。
3. Molly は、毎日内職のために家にこもりがちになり、疲れきっていた。
4. 兵士たちが家のドアを叩いたが、Molly は居留守を使って仕事を続けた。
5. 友人の Annie は、Molly との約束の時間よりだいぶ遅れてやってきた。

〔No. 26〕 次の文の内容と合致するものとして、最も妥当なものはどれか。

道徳や倫理を説く者は、社会の中で人がどのように生きるものが、その人間性についての深い洞察を持っていなければならない。人間の心の機微を知らなければ優れた道徳家にはなれないのである。全ての行動様式と価値観は、結局は人として、より広く見れば生物として可能な限り良く生きたいという最終的な目的に沿って生まれてくるものであり、その自然な軌道からそれてしまった倫理規範は、長続きしないか、カルト的な隘路へと追い込まれていってしまう。

孔子が、廐が火事になって自分が大切にしていた馬が死んでしまった時に、馬のことは全く聞かずに、人がけがをしなかったか、そのことだけを気にかけてと伝えられる故事は、人心の機微に通じた人としての孔子の姿を生き生きと伝えている。

時に、反社会的であったり、反生命的であったりする価値観や世界観を「かっこいい」と思う人は出てくるけれども、そのようなものは生命の本質から言って、辺境的な立場に置かれざるを得ない。もちろん、辺境的な価値にもそれなりの存在意義があるし、人間のあり方の多様性の一部分ではあるが、それが決して人間の精神の制度の中核を占めることにはならないということも、生命のバランス原理という視点から見て当然のことである。

生きているということは、それだけで^{すご}凄いことで、どんなに立派な価値観、倫理体系をもってしても、生きるということの現場に立ち現れていることに比べればやはり部分問題にすぎない。《中略》

人間性の本質は、危機においてこそ表れると言われる。孔子の故事が孔子の人間性の深み、その倫理観の大きさを伝えるのは、それが、思いも掛けない人生の偶有性に際してのかの人の行動を伝えるからである。

1. 優れた道徳家は、理想的な生き方を探求するために、辺境的な価値がもてはやされる社会から離れようとする。
2. 人間は辺境的な立場に置かれることによって、反社会的、反生命的な価値観の存在意義を理解できるようになる。
3. 人心の機微に通じた人間になるためには、常日頃から危機に遭遇したときにとるべき理想的な行動について考察しておく必要がある。
4. 人間のもつ多様な価値観を包含する柔軟性を有する道徳や倫理でなければ、社会の中に定着することはできない。
5. 人間の精神制度の中核を占める価値観は、生物として良く生きたいという生命の目的に沿ったものである。

〔No. 27〕 次の文の内容と合致するものとして、最も妥当なものはどれか。

「登りは体力、下りは技術」と常々アドバイスしているのだが、いまだに「下りは楽でいいわ」と広言して頂上から下りはじめ、結局ヒザや太ももやらを痛めて下界に着くという方が多い。

肥満、運動能力や筋力も弱くなってきている中高年登山者は、山から「下っている」のではなく、「落っこっている」のだ。

一方の脚を下ろすべく、もう一方の脚に全体重を預け、少しずつ腰を落としていく。体重を預けられた方の脚は、筋力が劣化して体重をためておくことができず、体全体が落っこちてしまう。結果として全体重をガツンと受け止めることになるから、太ももにはそのダメージが蓄積してしまう結果になる。

登るときから筋力が山に負けているという人は、頂上で脚に限度がきているから、下りとなれば太ももがつったり、ヒザが笑ってしまい、落っこってきた体重を支えられず、登山道のなんでもないところで転倒、という事態を招くのだ。

運がよければ足首のねんざ、骨折、あるいは転倒した瞬間手をついて手首のねんざ、骨折で済むが、運が悪いと路肩から崖下へ滑落して、致命的な結果に至る場合も少なからずある。

鹿島槍ヶ岳で冷池山荘から頂上を往復してきた折、山荘まであと5mという平地で転倒。手首を骨折という事態にも直面した。中高年の事故の多くは転倒・滑落、しかも下山中のなんでもないところが圧倒的といわれているが、その一例といえよう。

「登りは体力、下りは技術」と僕は書いたが、下山中の転倒・滑落というのは技術以前の問題で、はなから体力負け、筋力負けであるような気がしてならない。

1. 中高年の登山者は、もうすぐ到着というときに、気の緩みから注意力が散漫になり、転倒・滑落事故を起こしやすい。
2. 中高年の登山者に下山中の転倒・滑落事故が多い理由は、体力ばかりを重視して「下りの技術」が伴わないからである。
3. 既に筋力・体力が限界にきているときには、登山道のなんでもないところで転倒・滑落してしまうことがある。
4. 「落っこっている」とは、力が筋肉や関節で分散され、衝撃が緩和されていることをいう。
5. 最近の中高年登山者は、かつてより筋力が弱ってきているので、登山中の転倒事故が増えている。

〔No. 28〕 次の文の内容と合致するものとして、最も妥当なものはどれか。

別に宇宙体験にかぎったことではないが、体験はすべて時間とともに成熟していくものである。とりわけそれが重要で劇的な体験であればあるほど、それを体験している正にその瞬間においては、体験の流れの中に身をゆだねる以外に時間的余裕も意識的余裕もないから、その体験の内的の含意をつかむことができるのは、事後の反省と反芻を経てからになる。もちろん、それは覚醒した意識上での認識の話であって、潜在意識下では、その体験の瞬間から、何らかの変化がはじまっている。どんな体験でも体験者を少しは変えずにはおかない。とるに足りない体験はとるに足りないくらいに、小さな体験は小さく、大きな体験は大きくその人を変える。といっても体験の価値観大小は主観的判断だから、ある人にはとるに足りない体験にすぎないものが別の人にはその生涯を変えるような大きな体験になるということも、またその逆もしばしばある。いずれにしろ、潜在意識下ではじまった変化が、当人が気づかずにはいられないくらい大きくなったときに、人はそれをもたらした体験の内的意味を解釈しようとして、意識的な反省をはじめ。それがどれだけ成功するかは、もっぱらその人の内省能力にかかわる問題だ。

世の中には、いかなる体験についても、手軽な解釈に便利な常套句が沢山用意されている。たいていの人は、そこで満足する。それに満足できない人は、自己認識を求めて内省の旅に出る。

1. 体験の影響は、覚醒した意識上では体験者それぞれで異なるが、潜在意識に与える影響は誰に対しても同じである。
2. どのような小さな体験であっても体験者に変化を与えるが、同じ体験をしてもその価値は人によって異なる。
3. 体験の内的意味は、他人からは知り得ないものであるが、体験者自身にはただちに分かるものである。
4. 体験の内的意味を解釈することは、覚醒した意識上では行われず、潜在意識下で行われているものである。
5. 体験の意味を解釈する内省能力の大きさは、潜在意識下で起こった変化の大きさに影響されるものである。

〔No. 29〕 次の 〃 の文の後に、A～Dを並べ替えてつなげると意味の通った文章となるが、その順序として、最も妥当なものはどれか。

「コンピュータ」は、日本語では、「電子計算機」もしくは「計算機」と訳される。

- A 面白いのは、語源としても「数を計算する」とこと、「知的に考える」ことが、しっかり結びついていることだ。
 - B 今では、数を計算することそのものよりは、知的に、あるいは、素早く、大量に探したり考えたりするのがコンピュータの役割である。
 - C 英語の語源は、ラテン語で、com-(心の中で一緒に)+puter(考える、認識する)から来ているので、「一緒に考える、認める」という意味になるのだが、これが「計算する」という意味の後期ラテン語 computusになり、そこからcomputeとcountとが生じたと、ランダムハウス英和大辞典は説明している。
 - D これは、現在のコンピュータの現実を見事に表している。
1. B→A→C→D
 2. B→D→A→C
 3. C→A→D→B
 4. C→B→A→D
 5. D→B→C→A

〔No. 30〕 次の文の A、B、C に当てはまる語句の組合せとして、最も妥当なものはどれか。

この日本列島にも、まだ [A] のない時代があった。いや、[A] を使いはじめてからの歴史の方が [B] だけの歴史よりも浅い。[B] だけの長い言語生活の歴史に対して、[A] で記録するという [C] の歴史がはじまってから、たかだが 1400 年くらいしか経っていないのです。日本人は、[A] を持たなくても、アフリカの [A] のない社会の人々と同じように、日本語を話し、部族を形成し、元気一杯に日常生活を営んでいたと考えられます。

	A	B	C
1.	日本語	書き言葉	文字
2.	日本語	話し言葉	書き言葉
3.	文字	書き言葉	日本語
4.	文字	話し言葉	書き言葉
5.	書き言葉	話し言葉	文字

〔No. 31〕 次の文は、世阿弥が『風姿花伝』において、17、8 歳の頃の芸の修養のありようについて述べたものであるが、この内容と合致するものとして、最も妥当なものはどれか。

このころはまた、あまりの大事にて、稽古多からず。まづ声変わりぬれば、第一の花失せたり。体も腰高になれば、かかり失せて、過ぎしころの、声も盛りに、花やかに、やすかりし時分の移りにて、てだてはたと変りぬれば、気を失ふ。結句、見物衆もをかしげなる気色みえぬれば、はづかしさと申し、かれこれ、ここにて退屈するなり。このころの稽古には、指をさして人に笑はるとも、それをばかへりみず、内にて、声の届かんずる調子にて、宵暁の声を使ひ、心中には願力を起して、一期のさかひこなりと、生涯にかけて、能を捨てぬよりほかは、稽古あるべからず。ここにて捨つれば、そのまま能はとまるべし。総じて、調子は声よりといへども、黄鐘・盤渉^{*}をもて用ふべし。調子にさのみかかれば、身形にくせ出でくるものなり。また、声も年よりて損ずる相なり。

* 黄鐘・盤渉：日本音楽の音階で 12 音の下から 8 番目と 10 番目に当たる音

1. この時期には、反抗期で稽古を十分にしなくなってしまう者が多く出てしまうことが問題である。
2. この時期には、声変わりした声をおかしいと人に笑われることもあるが、それに惑わされずに、無理をしなくてもひたすらに、高い声を出して稽古することが必要である。
3. この時期には、声変わりをすると身体つきも変わるので、その舞台を見る見物人も恥ずかしく感じ、退屈してしまうものである。
4. この時期は、能を続けていくことができるかどうかの重要な時期であることから、一時期能を捨てて稽古をしないことが必要である。
5. この時期に調子にばかりこだわると、姿勢に癖がついてしまい、声も年を取ってから駄目になることがある。

〔No. 32〕 二つの文が論理的に同じ意味を表しているものはどれか。

1. { ある小説はおもしろい。
おもしろくないものは小説ではない。
2. { 18歳未満なら子どもである。
子どもでないなら18未満ではない。
3. { あるウサギは白い。
白いものがすべてウサギではない。
4. { すべての草木は緑色か茶色である。
緑色か茶色なら草木である。
5. { ただ魚だけが水中に住む。
どの魚も水中に住む。

〔No. 33〕 1～10の数字が書かれた10枚のカードを「1」のカードから順に2人で交互に取り合い、最後に「10」のカードを取った方が勝ちとなるゲームを行う。ただし、1回で取ることができるカードは1枚か2枚とする。例えば、相手が「8」のカードを取れば、「9」のカード1枚か、「9」、「10」のカード2枚を取ることができるが、「9」、「10」のカードを取ることで勝ちになる。

先番、後番を自由に選ぶことができるとき、このゲームに必ず勝つための戦略が存在するが、その初期のゲーム運びの判断として、最も妥当なものは次のうちのどれか。

なお、最初にカードを取る側を先番とし、その次にカードを取る側を後番とする。

1. 先番を選び、最初に「1」のカードを取る。
2. 先番を選び、最初に「1」、「2」のカードを取る。
3. 後番を選び、相手が「1」のカードを取れば「2」のカードを取り、相手が「1」、「2」のカードを取れば「3」のカードを取る。
4. 後番を選び、相手が「1」のカードを取れば「2」のカードを取り、相手が「1」、「2」のカードを取れば「3」、「4」のカードを取る。
5. 後番を選び、相手が「1」のカードを取れば「2」、「3」のカードを取り、相手が「1」、「2」のカードを取れば「3」のカードを取る。

〔No. 34〕 Aが自宅から公園までの道を往復しようとしている。自宅と公園のちょうど中間地点には花屋があり、また、自宅、花屋、公園には、それぞれ時計があるが、これら3つの時計は正確な時刻から常に一定時間だけ早い時刻または遅い時刻を示している。

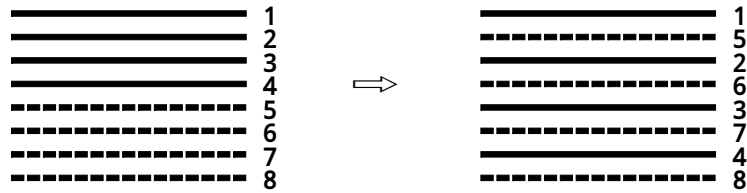
いま、Aが出発したとき、自宅の時計は10時ちょうどを示しており、花屋を通過したときに花屋の時計は11時ちょうどを示していたが、Aが公園に到着したとき、公園の時計も11時ちょうどを示していた。

その後、公園で60分過ごしてから、これまで来た道を戻って、自宅に到着したとき、自宅の時計は14時ちょうどを示していた。このとき確実にいえるものはどれか。

ただし、Aが歩く速さは一定とし、自宅と公園との間では途中で休まないものとする。

1. 花屋の時計は、公園の時計よりも45分進んでいる。
2. 花屋の時計は、公園の時計よりも30分進んでいる。
3. 花屋の時計は、自宅の時計よりも45分進んでいる。
4. 自宅の時計は、公園の時計よりも45分進んでいる。
5. 自宅の時計は、花屋の時計よりも30分進んでいる。

- 〔No. 35〕 1～8の数字が書かれた8枚のカードが数字の順に重ねてある。これらのカードを図のように上半分と下半分の各4枚に分け、上半分の1番上にあるカードが常に1番上になるようにして、上半分と下半分を上から順番に交互に重ね合わせた。この作業を何回か繰り返したところ、最初に並んでいた1～8の順に初めて戻った。全部で何回この作業を繰り返したか。



1. 3回
2. 4回
3. 5回
4. 7回
5. 8回

- 〔No. 36〕 AとBは同じサッカーチームに所属しており、AとBについて次のことがわかっている。

- * AとBがそろって出場すれば試合に勝てる。
- * Aは月曜日と水曜日は試合に出場することができない。
- * Bは授業のある日は試合に出場することができない。
- * Bは金曜日は授業がある。

このとき、次の文の下線部①～④の記述について、論理的に確実にいえるもののみをすべて挙げているものはどれか。

「相手チームと日程を調整したところ、試合は金曜日に行われることに決まった。この結果、①Aは試合に必ず出場することができる。しかし、②Bは試合に出場することはできない。したがって、③金曜日の試合にはAとBがそろって出場することはない。以上より、④金曜日の試合には勝てない。」

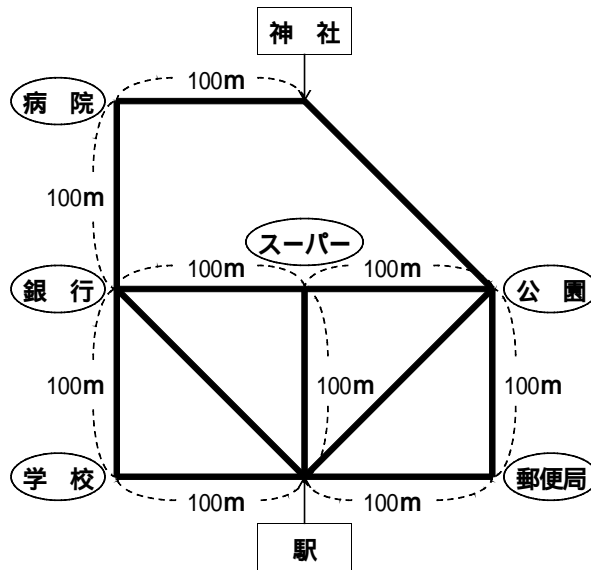
1. ①、②
2. ①、③、④
3. ②、③
4. ②、④
5. ③、④

〔No. 37〕 A～Eの5人が、図のような、直線道路——からなる道を通って神社に行った。各人は駅から同時に別々の方角に向かって出発し、神社に到着した。

次のことがわかっているとき、確実にいえるものはどれか。

なお、5人は同じ速さで歩き、道路を後戻りしたり、曲がり角を3回以上曲がった者はいない。

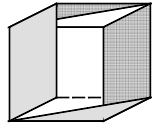
- * Aは最初、Cとは反対の方角に向かって出発した。
- * Bは途中からAと一緒に歩く機会があった。
- * Cは5人のうちで一番最後に神社に着いた。
- * Dは途中で誰とも一緒に歩く機会は無かった。
- * Eは5人のうちで一番最初に神社に着いた。



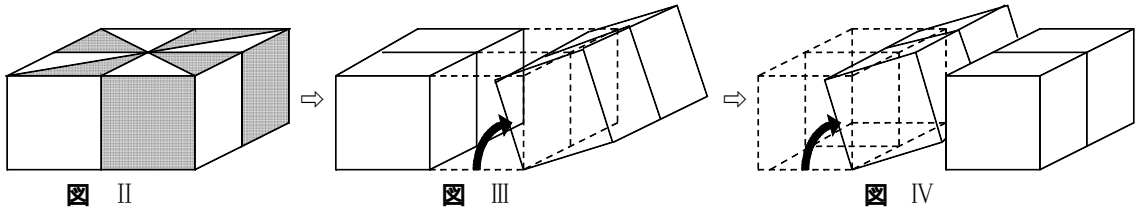
1. Aは、学校の前を通った。
2. Bは、郵便局の前を通った。
3. Cは、スーパーの前を通った。
4. Dは、病院の前を通った。
5. Eは、銀行の前を通った。

〔No. 38〕 図Ⅰのような、2面が白く、2面が黒く塗りつぶされ、残る2面が一つの対角線を境に白と黒に塗り分けられた積み木がある。これと同じ積み木4個を、図Ⅱのように置いた後、図Ⅲ、図Ⅳのように1列ずつ右方向に90°回転させた。このとき、積み木全体を上から見た図として、最も妥当なものはどれか。

ただし、図Ⅱにおいて、積み木同士が接する面はすべて、異なる模様の面を合わせてあるものとする。また、図Ⅰでは、模様を透過させて示してあるが、実際には隠れている面の模様は見えないものとする。



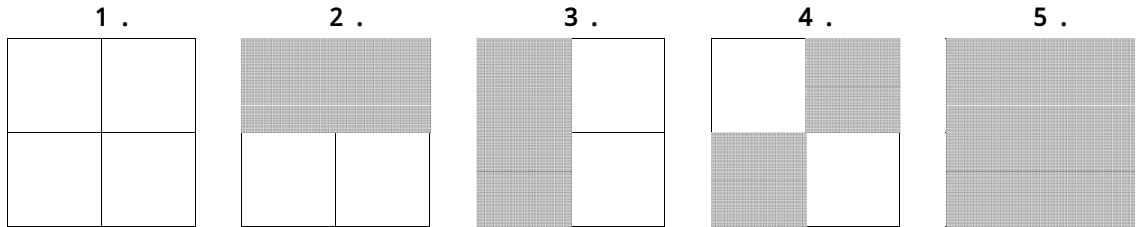
図Ⅰ



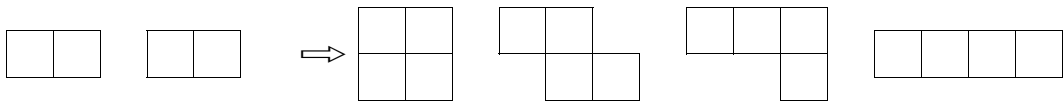
図Ⅱ

図Ⅲ

図Ⅳ



〔No. 39〕 図Ⅰのような正方形を2つ並べた図形2つを、少なくとも正方形の一边と一边が接するように組みあわせると、図Ⅱのような4通りの図形ができる(回転や裏返しをして同じになるものを除く)。同じように、図Ⅲのような正方形を3つ並べた図形2つを組みあわせると、何通りの図形ができるか。



図Ⅰ

図Ⅱ



図Ⅲ

1. 5通り
2. 6通り
3. 7通り
4. 8通り
5. 9通り

- 〔No. 40〕ある自動車は、時速40kmで走るとガソリン1ℓ当たり8km走行でき、時速80kmで走るとガソリン1ℓ当たり12km走行できる。この自動車で、最初時速40kmで走り、その後、時速80kmに速さを変えて合計で8時間走ったところ、全走行距離が440kmとなった。この間に消費したガソリンの量として、最も妥当なものはどれか。
1. 40ℓ
 2. 45ℓ
 3. 50ℓ
 4. 52ℓ
 5. 54ℓ
- 〔No. 41〕100円、50円、10円の硬貨を合わせて14枚、金額にして660円持っていた。いま、250円の買い物をして残高を調べたら、100円、50円、10円の硬貨の枚数の比は3：2：1であった。最初に持っていた50円硬貨は何枚か。
1. 3枚
 2. 4枚
 3. 5枚
 4. 6枚
 5. 7枚
- 〔No. 42〕Aはヨーロッパ旅行に行った。出発時に日本で円を1ユーロ当たり150円でユーロに両替し、旅行先で500ユーロを使った。残ったユーロすべてを再度日本で円に両替したところ、1ユーロ当たり160円で両替できたので、16,000円になった。Aが出発時にユーロに両替した金額はいくらか。
- なお、両替手数料は考えなくてよいものとする。
1. 75,000円
 2. 80,000円
 3. 90,000円
 4. 105,000円
 5. 120,000円
- 〔No. 43〕上着3着(黒・茶・白)、シャツ4枚(黒・茶・白・青)、ズボン2枚(黒・茶)がある。これら3種類の衣類を着回しし、3種類のうち2種類以上が同じ色になるようにする組合せは何通りあるか。
1. 12通り
 2. 14通り
 3. 15通り
 4. 16通り
 5. 17通り

〔No. 44〕折れ線グラフは、ある和菓子店における、大福の売上げ個数の対前月増加率の推移を表したものである。このとき、1月から12月までの売上げ個数の推移を表した図として、最も妥当なものはどれか。

〔No. 45〕表は、わが国の紙製容器包装、ペットボトル、プラスチック製容器包装の3品目について、「容器包装リサイクル法」に基づく分別収集・再商品化の実績を示したものである。この表からこれら3品目について、確実にいえるものはどれか。

品目名	年度 (平成)	分別収集計画量 [t]	分別収集実績量 [t]	再商品化量 [t]
紙製容器包装	13	120,308	49,723	44,675
	14	152,764	57,977	54,145
	15	147,590	76,878	69,508
	16	165,355	69,197	59,668
	17	189,970	71,012	63,031
ペットボトル	13	172,605	161,651	155,837
	14	198,672	188,194	183,427
	15	214,209	211,753	204,993
	16	229,089	238,469	231,377
	17	243,070	251,962	244,026
プラスチック製容器包装	13	389,272	197,273	180,306
	14	486,727	282,561	268,640
	15	486,585	404,697	384,865
	16	628,982	471,488	455,487
	17	757,050	558,997	538,123

1. 分別収集計画量について、平成13年度と17年度を比較した場合、最も増加割合が大きいのはペットボトルである。
2. 平成13年度から17年度にかけて、どの品目についても、分別収集実績量が分別収集計画量を上回った年はなかった。
3. 平成15年度において、分別収集計画量に対する分別収集実績量の割合が最も大きかったのは、プラスチック製容器包装である。
4. 紙製容器包装の再商品化量が平成16年度に減少したのは、プラスチック製容器包装の需要が増えたからである。
5. 平成17年度において、分別収集実績量に対する再商品化量の割合が最も小さかったのは、紙製容器包装である。